

令和6年度 学校評価報告書（目標設定）

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		グループ目標
				具体的な方策	評価の観点	
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・中高一貫教育の特色を活かした教育課程を策定し、知的好奇心を引き出し、高い学力と志を身に付けさせる。 ・探究学習を中心にカリキュラム・マネジメントを展開し、「自ら考え・調べる」姿勢を育成する。 ・主体的・対話的で深い学びを重点研究し、言語活動の充実を図りながら科学的根拠に基づく論理的思考力、及びSTEAM教育等を通して表現力を育成する。 ・グローバル社会に求められる英語運用能力向上を目指すとともに、様々な価値観を持つ人々との相互理解を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①思考力・判断力・表現力を高める振り返りシートと評価方法や評価の手立てを整理する。 ②英語運用能力の更なる向上を目指す。 ②学校外との交流を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①「思考力・判断力・表現力の育成」および「指導と評価の一体化」を共通テーマとして研究を実践する。 ②英検受験、合格率とGTECスコア、および共通テスト平均点を過去のデータと検証し、現状分析と目標を再設定する。 ②特別土曜講座において、他校生の参加を呼びかけたり、生徒からの提案や意見も吸い上げたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ①研究成果と教科への還元はどうか。単元に係る振り返りを実施できたか。 ②データの推移と分析結果はどうか。 ②特別土曜講座への参加者数や参加校数に変化は見られたか。また、生徒からの提案がどのくらいあったか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「指導と評価の一体化」を進めるため、職員全体の評価内容や方法に対する理解を深める。 ○「教員プチ探究」を通して、探究のサイクル実体験し、試行力・判断力・表現力の育成を目指す。 ○GTECや英検に係る到達目標を周知し、6年間を見通した自己認知を促す。 ○Cross Schoolの取組として、県立高校のみならず、東京私学との交流も積極的に行い、講座参加を促す。
2	(幼児・児童・)生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・自主自律を推奨し、目標達成を諦めない精神力と規範意識、思いやりをもって下級生を指導するリーダー意識を醸成する。 ・6年間を安全かつ安心して過ごせるよう、安全教育を通じて支援・指導を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ①「挨拶をする」「時間を守る」「整理整頓する」の3つを、生徒に自主的に取り組ませる。 ②発達段階に応じて、6年を貫いた指導体制を確立する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①「挨拶」「時間を守る」「整理整頓」の3つの柱において、生徒による自主的取組を促す。 ②教科横断の視点で年次計画を作成し、振り返りアンケートを実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①生徒一人ひとりが、3つの柱に対して自主的に取り組めたか。 ②実施内容と生徒評価はどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒会執行部と準執行部を中心に、委員会活動の中で3つの柱についてできる取組を検討させ、実施する。 ○前期課程生は評議員を中心に、各学年・学級ごとに意識を高める取組を行う。 ○安全教育の視点で、6年を貫いた指導体制を確立する。

3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・第一志望を諦めない進路指導を徹底するとともに、5教科受験での国公立大を推奨し、60名以上の現役合格者を目指す。また、国公立大や難関大における現役合格率75%を目指した段階的・体系的な支援・指導を行う。 ・キャリアパスポートを活用しながら、高い志を維持させるため、実践・経験値を向上させ、自己変容のプロセスを重視したキャリアプランニングを指導する。 	<p>①第一志望を諦めない進路指導を推進する。</p> <p>②主体的取組としてのコンテスト参加を引き続き促す。</p>	<p>①国公立大のより迅速な受験結果の集約に向けDXを活用する。また、進路実績の分析と指導体制を検証する。</p> <p>②検定やコンテスト参加数を継続して行う。参加経験のある生徒による募集実施する。</p>	<p>①第一志望の進路実現を達成できたか。</p> <p>②SSS振返りシートの経年検証の結果はどうか。また、参加者数はどのように推移したか？</p>	<p>○生徒が卒業後の進路について、主体的に考え、最後まで諦めずに第一志望を目指せるよう支援する。</p> <p>○SSS振返りシートの経年検証を行い、今後の継続について検討する。</p> <p>○検定コンテスト掲示板を設置し、生徒への情報提供を行う。</p> <p>○コンテストに参加する生徒、指導する教員へのサポート体制を充実させる。</p>
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> ・地域交流から社会貢献意識を醸成する。 ・神奈川県を代表する中高一貫校としての魅力を発信し、6年の学びの意欲を引き出す広報、開かれた学校づくりを推進する。 	<p>①校外活動を促すとともに、地域交流の機会を模索する。</p> <p>②学校のミッションを踏まえながら、受検者の視点を取り入れた学校案内を作成する。</p>	<p>①南区役所地域振興課と連携した防災訓練を計画、実施する。</p> <p>②生徒のアイデアを活かした学校案内を作成し、説明会を企画する。</p>	<p>①生徒ならびに地域住民の参加状況はどうか。</p> <p>②どのようなアイデアを活かすことができたか。</p>	<p>○地域貢献を年間を通して行う。</p> <p>○生徒や地域住民にとって、より効果的な防災訓練の方法を模索し、教職員を含め防災意識を向上する。</p> <p>○入学を希望する受検者および保護者に向けて、本校の活動をわかりやすく広報し、入学意欲を高めてもらう。</p>
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ・業務を組織的に可視化させ、効率向上から働き方改革を推進するとともに、OJTを意識しながら職員相互の能力向上を図る。 ・地域から信頼されるため、職員一人ひとりが県職員としての自覚を持ち、不祥事防止に全力で取り組む。 	<p>①帰宅しやすい環境づくりの継続とスクラップ提案等により、業務削減に取り組む。</p> <p>②同僚性の醸成に継続的に取り組み、不祥事防止の意識を高める。</p>	<p>①試験前に会議を設定しないとともに、採点システムの運用および「スクラップ提案書」を継続して実施する。</p> <p>②教員による不祥事防止研修を継続する。コミュニケーションの取りやすい職場づくりを重点目標とする。</p>	<p>①時間外勤務時間や年休取得数がどのように変化したか。</p> <p>②研修会は実施できたか。また職員同士のコミュニケーションが増えたか。</p>	<p>○年休取得の推進、帰宅時間の促し等、意識改革手立てを実践する。</p> <p>○グループワークを中心とする研修を実施し、教員が様々な視点から話し合える場を提供する。</p> <p>○全教員が手順や注意点を十分に理解し、成績に関する事故をゼロにする。</p>

